

学校 教育 目標	きらり 笑顔あふれる『もろおかっこ』 ○『もろ』おかを愛する子を育てます。(公) ○『お』もいやりを大切にすることを育てます。(徳) ○『か』からだを自分で動かす子を育てます。(体) ○『つ』たえ合い、未来に輝く子を育てます。(開) ○『こ』んきよく考える子を育てます。(知)				
	創立 50 周年 児童生徒数: 1268 人	学校長 川村 智子 主な関係校: 樽町中学校 大曾根小学校 綱島東小学校	副校長 猪子 隆弘	2 学期制	一般学級: 36 個別支援学級: 11

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する能力>	樽町中ブロック	共に学び合い、自他を大切にし認め合う子ども ・バランスのとれたコミュニケーション能力の育成をめざした授業の推進と実践。 ・だれもがわかる、参加できる授業作りの推進。 ・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施。 ・ブロック教務主任会で、授業・行事・児童会生徒会活動、部活動の交流の設定。 ・(小中合同授業研 小中児童生徒交流日 樽町中学校職業体験 個別小中交流会 中学部活動体験)

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、主体的な学びを充実させます。 ・1年目は学ぶ楽しさやわかる達成感を実感できる授業づくりに取り組みます。 ・2年目は子どもの思考力判断力表現力を大切にしながら伝え合う力を育てます。 ・3年目は自ら自分の思いを伝え合うことができる力を育てます。 ○異学年交流や地域の方との交流を通して他者を思いやる心やまわりの人への感謝の気持ちを育てます。 ・3年間を通して、「挨拶」を基盤とし、一人ひとりが進んで挨拶を行い、安心して学校生活を送れるようにします。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 担当 研究部・重点研	・子どもと共に学習計画とめあてを立て、子ども自身がゴールの姿を思い描き、学習を進められるようにする。 ・身に付けたい力を明確にし、そのための手立てを考える。 ・安心して伝え合うために、各学年にあった話型を提示する。
徳 道徳教育 担当 道徳部・なかよし部	・今月の生活目標を朝会で発表する際に、「○○週間」を設定し、意識して取り組めるようにする。 ・教室のドアに「失礼します」の話型を掲示し、礼儀正しい言葉遣いを行うことができるようにする。
体 健康・安全教育 担当 体育部・食育部・保健安全部	・心身の健康を保持増進のために、児童が望ましい衛生・生活習慣や楽しく運動する習慣を身に付けるようにする。 ・体育時、休み時間などを活用し、子どもたちの体力の向上を目指す。 ・学校食育年間計画に沿って給食や学級活動の時間等を活用し、食に関する知識を深める。
公開 自分づくり教育 (キャリア教育) 担当 特活部・生活総合部	・「笑顔メーカー」を合言葉に、教職員の間から「きらり笑顔」を広めていく。 ・2クラス程度の異学年が相互交流し、子ども同士が関係づくりできる場をつくる。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策・いじめ児童指導部	・子どもと子どものつながりを深めるようにしたり、自尊心を高められるように取り組んでいく。 ・横浜プログラムを活用する。 ・子どもたちの頑張り認め、「ありがとう」の声かけを意識する。 ・子どもたちの思いを聴く→学年で共有→学校(学校全体で守る姿勢を)
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部・ミドルメンターチーム	・時間内にできる仕事の意識付け・終了時刻から逆算した業務、感情論でなく最上位の学校教育目標(きらり 笑顔あふれる)を意識・留守番電話設定 ・ミドルリーダーを中心に教科指導および学級経営につながる研修を適宜行うようにする。
特別支援教育 担当 特別支援部・いじめ児童指導部・校内特別支援	・特別支援教育について理解を深めるために、校内研修を実施する。 ・事例検討を学年と特別支援教育Co.とで行い、相談しやすい環境をつくる。
地域学校協働活動 担当 地域連携	・学校運営協議会新規設置および地域コーディネータ新規活動開始する。現状把握と協議会、地域co.のめあてをもって取り組むようにする。 ・地域コーディネーターと連携し、学校運営を地域と連携して行うようにする。
GIGAスクール構想 担当 GIGA担当	・ロイロノートやGoogle classroomで教員と児童と情報のやり取りを行い、子どもの学びを深める。 ・どのような活動でタブレット(ロイロノートやGoogle classroom)を使ったかを記録し、共有する。
担当	